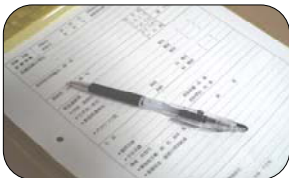


## 緊急事態！どう対処しますか？

当センターでは知的障害だけでなく全身疾患がある方も多く来院されています。不安や恐怖心の強い歯科診療において身体が過敏に反応し偶発症を招くことも考えられ、救急処置を必要とする可能性が高くなります。そのような状況に陥った場合、的確な全身状態の把握・対応を行い病態を悪化させないことが重要ですが、まず何をすればよいのでしょうか？

### ▷いつでも全身管理！！

通常の歯科治療時においても、全身状態の把握が大切です。



#### 1 医療面接による情報収集

既往歴と治療経過・内服薬・日常生活の制限や注意事項・感染症の有無



#### 2 バイタルサインの確認

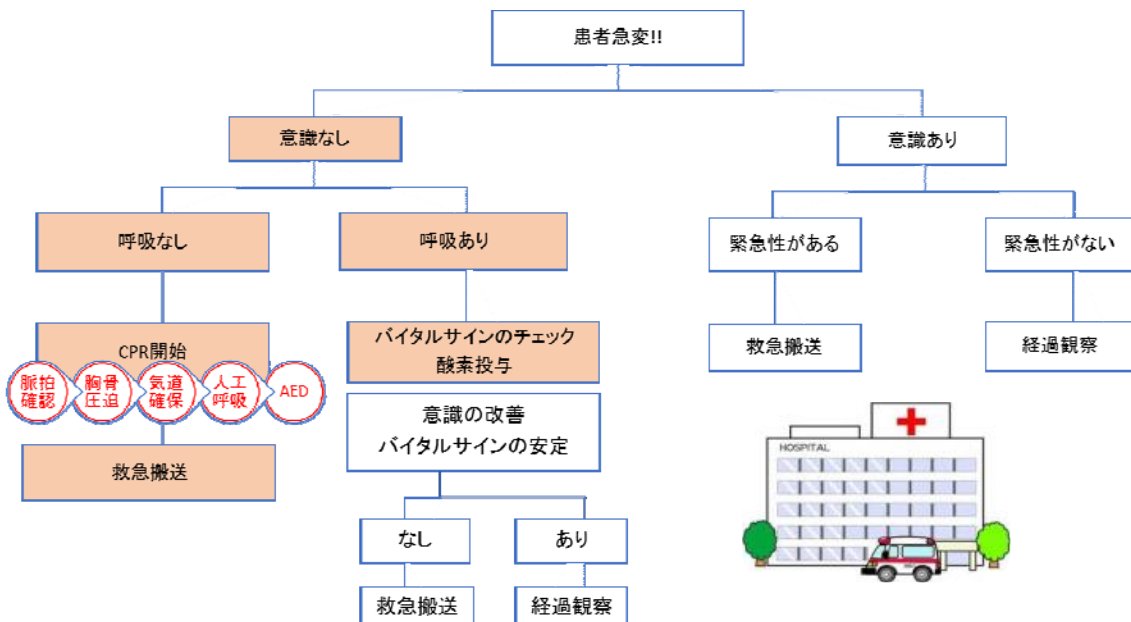
血圧（基準 110～130/60～85mmHg）・動脈血酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>基準 97～100%）・脈拍数（基準 60～80 回/分）・体温（基準 35.5～36.9℃）・呼吸（基準 12～20 回/分）  
心電図は異常をいち早く発見するモニターとして有効です。



#### 3 酸素吸入

呼吸器疾患など低酸素状態の方や低酸素状態になりやすい方には SpO<sub>2</sub>の計測をしながら酸素投与を行います。

### ▷これだけは知っておこう！！



## ▷これだけは準備しておこう!!

### ★ 救急カートや持ち運び用の緊急セットの設置 ★

アンビューバッグ・AED・バイトブロック・エアウェイ・点滴セット・薬品類

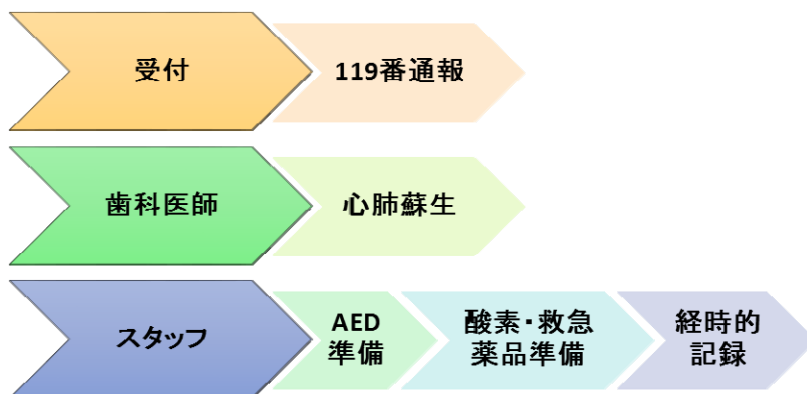


### ★ 救急薬として準備しておく安心な薬品 ★

症状	使用薬剤 [容量]	使用法・用量
血圧上昇	アダラート®(ニフェジピン) 5mg/1CAP	5mg 内服
血圧下降	エフェドリン®(エフェドリン) 40mg/1ml	20~40mg 筋注
頻脈	静注用キシロカイン®(リドカイン) 100mg/5ml	50mg 筋注
徐脈	硫酸アトロピン®(硫酸アトロピン) 0.5mg/1ml	0.5mg 筋注
喘息, アレルギー	サクシゾン 100®(ハイドロコルチゾン) 100mg/1v	200~1000mg 静注
痙攣, てんかん	セルシン®(ジアゼパム) 10mg/2ml	0.1mg/kg 筋注
アナフィラキシーショック	エピペン®(アドレナリン) 0.3mg	0.3mg 筋注
胸痛	ミオコールスプレー®(ニトログリセリン) 0.3mg/1 噴霧	1 噴霧

## ▷これだけは考えておこう!! ⇒⇒いざという時の役割分担

緊急時に迅速な対応が出来るよう当センターでは定期的に、スタッフ全員による救急処置と非常時の避難訓練を実施しています。その際、その場に居合せた人たちが役割分担することでスムーズに救急処置が行えるよう考慮しています。まず人を集めることが重要ですが、少人数でもそれぞれが何をすべきか考えて行動出来るよう心がけています。



【スタッフ全員による救急蘇生研修】

今回、当センターでの全身管理に対する取り組みをご紹介しました。

どこの歯科診療室においても対応には限りがあるため、救急車の要請が第一です。そして、救急搬送までの間に出来ることを常に確認しておきましょう。

当センターでは緊急時に迅速な対応ができるよう医科病院<sup>※</sup>と連携し、診療中の偶発症や合併症を配慮しながら安全な診療を提供していきたいと考えています。

※連携病院：公益財団法人 東京都保健医療公社 豊島病院  
公益財団法人 東京都教職員互助会 三楽病院